



naka
gyo
ku

中京区基本計画（第2期）



響きあう 人・まち・文化 中京区

ごあいさつ



1200年の歴史の息づかい、山紫水明の自然、美しい町並みの中で市民の皆様がいそいそと暮らす京都。伝統産業から先端産業まで、優れた技と知恵が融合・集積する「ものづくりのまち」、京都議定書誕生の地、環境モデル都市である「環境先進のまち」、国内外の人々を魅了する「国際観光のまち」など、京都には多様な、そしてそれぞれ世界に誇る、優れた特性があります。

今、人口減少・少子高齢化、進む地球温暖化など、私たちは様々な困難な課題に直面しています。しかし、京都ならではの都市特性を最大限に発揮し、ピンチをチャンスに知恵と力を結集すれば、必ず困難を乗り越えて未来を切り拓ける。私はそう確信しています。

この度、中京区の皆様の英知を結集し、中京区の個性を最大限に生かした魅力ある地域づくりを進めるための指針となる「中京区基本計画」を策定しました。この「中京区基本計画」は、今後10年間の京都の未来像と主要政策を明示した「はばたけ未来へ！^{みやこ}京プラン（京都市基本計画）」とともに、市民の皆様と夢と希望、危機感と責任を共有して描いた「未来の京都」を実現するためのシナリオとなるものです。

策定に当たりましては、区内の各種団体の皆様や公募委員、学識経験者で構成する中京区基本計画策定委員会や、各学区の自治組織の皆様による住民円卓会議で深い議論を重ねるなど、区民ぐるみで取り組んでいただきました。皆様に深く感謝申し上げます。

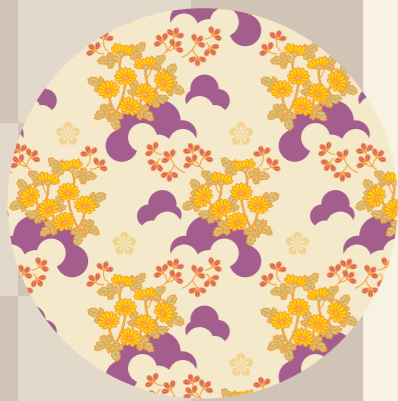
中京区の皆様の熱い思い、夢、希望がぎゅぎゅ詰まったこのシナリオを手に、私は、皆様と共に汗する「共汗」と、徹底した市民目線による政策の「融合」を基本に、“地域主権時代のモデル”となる未来の京都のまちづくりを全力で進めて参ります。そして、50年後、100年後も「日本に京都があってよかった」、「京都に住んでよかった」と実感していただける魅力あふれる京都を築いていく決意です。

さあ、皆様！希望に満ちた未来へと、中京区が、そして京都が、更に高く、強く、美しくはばたくよう共に力を合わせて参りましょう。

京都市長 門川 大作

目次

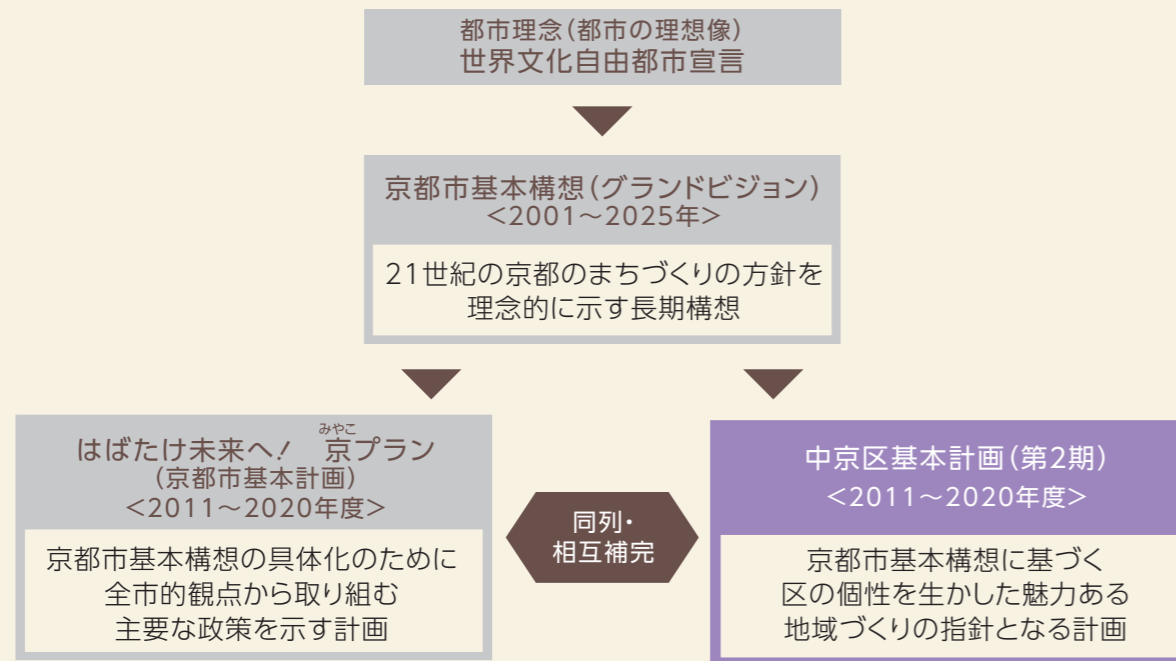
■ 第1章 ■	中京区基本計画について	4
	1. 計画の位置付け	
	2. 計画期間	
	3. 策定方針と策定方法	
	4. 計画の概要	
■ 第2章 ■	まちの姿	6
■ 第3章 ■	まちづくりの重点課題	10
	重点課題1：地域交流の促進	
	重点課題2：文化とにぎわいの創出	
	重点課題3：まちなか交通の快適化	
■ 第4章 ■	まちづくりの目標と目指すべき将来像	14
	1. まちづくりの目標	
	「響きあう 人・まち・文化 中京区」 ～わたしが創る ふれあいとにぎわいのまち～	
	2. 目指すべき将来像	
	人 コミュニティの活性化と再生	
	文化 地域個性の継承と創造	
	まち 通りの復権	
■ 第5章 ■	まちづくり戦略と事業アイデア	16
	戦略①：柔軟で開かれた地域組織づくり	
	戦略②：子どもから高齢者まで多様な人材が活躍できる活動づくり	
	戦略③：今日に引き継がれる歴史文化の再発見と継承	
	戦略④：まちごと・通りごとの個性ある文化醸成	
	戦略⑤：商い・ものづくり・学問の集積が生み出すにぎわいづくり	
	戦略⑥：人と自転車が共存できる環境の整備	
	戦略⑦：公共交通の利用促進と交通体系の改善	
■ 第6章 ■	計画推進の仕組み	24
■ 資料編 ■		26



1 中京区基本計画について

1. 計画の位置付け

- 本計画は、区の将来像やまちづくりの目標を区民の皆さんや事業者、大学等と行政が共有し、まちづくりを進めていくための指針です。
- 本計画は、「世界文化自由都市宣言」の都市理念の下、「京都市基本構想(グランドビジョン)」に基づくとともに、全市民的な未来像と主要な政策を明示した「京都市基本計画」とは同列・相互補完の関係にあります。



2. 計画期間

平成 23(2011)年度 ~ 平成 32(2020)年度までの 10 年間

3. 策定方針と策定方法

- 本計画の策定に際しては、地域で活躍されている皆さんや学識経験者で構成する「中京区基本計画策定委員会」を設置し、委員会やテーマ別の検討部会で協議を重ねました。
- また、中京区内の自治組織の皆さんで構成する住民円卓会議の開催や、区民アンケート調査の実施、計画案に対する意見募集、まちづくりの目標を表すキャッチフレーズの公募、区民意見交流会の開催などの機会を通じて、策定段階から区民の皆さんに積極的に参画していただきました。
- こうした多様な取組を経て、新しい「中京区基本計画」を策定しました。

4. 計画の概要

まちづくりの重点課題

課題 1

地域交流の促進

- 地域コミュニティの活性化
- 高齢者・障がいのある人の支援と参加促進
- 教育・子育ての支援

課題 2

文化とにぎわいの創出

- 地域文化の継承と創造
- にぎわいの創出
- 緑化とまちの美化

課題 3

まちなか交通の快適化

- 安全に歩けるまちなかの実現
- 公共交通体系の改善
- おもてなしの心を伝える観光情報の提供

まちづくりの目標 響きあう 人・まち・文化 中京区 ～わたしが創る ふれあいとにぎわいのまち～

目指すべき将来像

将来像 1

人

コミュニティの活性化と再生

- 居住歴や世代の違い、地域への愛着と関心の度合いの差異などを乗り越えて、コミュニティの活性化・再生を進める。
- 商業・ビジネスの中心地である中京を訪れるたくさんの方々も、今後のまちづくりに積極的に関わることのできる機会の創出を図る。

将来像 2

文化

地域個性の継承と創造

- 古くからのまちの姿を守るとともに、日々の暮らしが形作るまち並みや通り名、門掃き・打ち水など失われつつある「暮らしの作法」を再認識する取組を進める。
- 区民の思いを大切にしながら、中京の地域個性の再認識と、新たな価値の創造に向けて、区民・事業者・NPO等の協働を進める。

将来像 3

まち

通りの復権

- 車中心のライフスタイルからの転換を図り、住民も来訪者も安心・安全に往来できる、区民の日々の暮らしや生業の空間としての魅力ある「通り」の復権を目指す。
- 全市民的な公共交通の利便性向上や自動車の総量抑制策、自転車を楽しむことができる環境の整備などを通じ、「歩いて楽しいまち」づくりを進める。

まちづくり戦略

コミュニティの活性化と再生に向けて

戦略 1

柔軟で開かれた地域組織づくり

地域個性の継承と創造に向けて

戦略 3

今日に引き継がれる歴史文化の再発見と継承

通りの復権に向けて

戦略 6

人と自転車が共存できる環境の整備

戦略 2

子どもから高齢者まで多様な人材が活躍できる活動づくり

戦略 4

まちごと・通りごとの個性ある文化醸成

戦略 5

商い・ものづくり・学問の集積が生み出すにぎわいづくり

戦略 7

公共交通の利用促進と交通体系の改善

計画推進の仕組み

中京まちづくり会議(仮)

計画推進委員会(仮)

広報委員会(仮)

事務局(中京区役所)

2 まちの姿

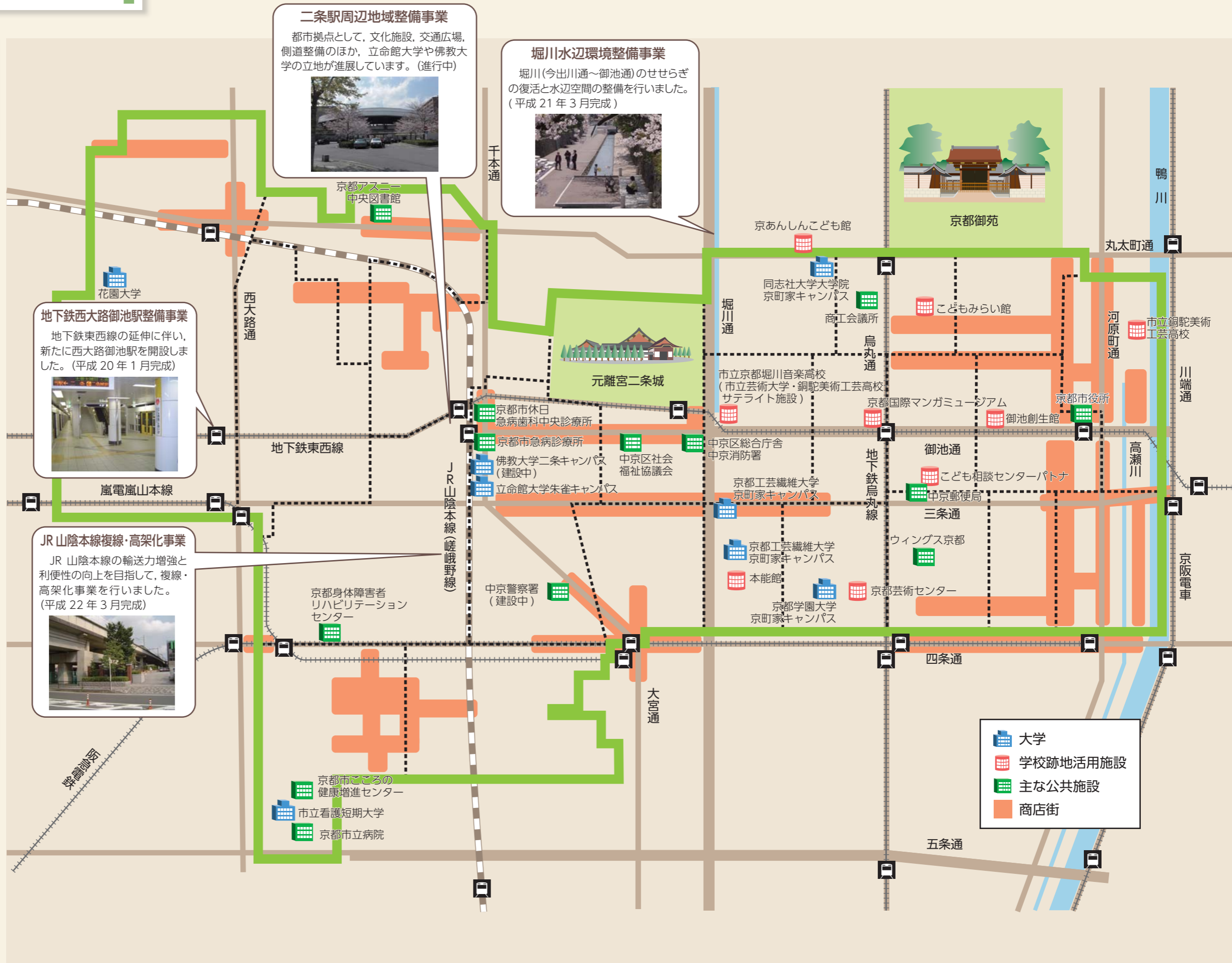
中京の文化とにぎわい

- 歴史的建造物や京らしいまち並み、伝統行事から新しいアートまで、ソフト・ハード両面の文化的資産が豊富に存在する一方、伝統行事などの担い手不足も起こっています。
- 各家庭の門掃きから堀川の清掃活動まで、市民の主体的な美化活動が行われているまちです。
- 個性的で魅力ある商店が集まる京都最大の商業地であるとともに、ビジネス中心地としての性格を有するまちですが、近年は大規模なマンションが増加するなど、まちの姿は大きく変容しています。
- 教育機関や生涯学習施設などが集まっているまちです。また、NPO 活動やコミュニティビジネス*の舞台としても期待されているまちです。
- 小学校跡地を活用した新たな施設等の整備が進められているまちです。
- 二条・円町・西大路御池等の駅周辺の整備や、堀川の整備、JR山陰本線の高架化・複線化など、都市基盤整備も進展しています。

*コミュニティビジネス・・・地域が抱える課題を、地域資源を活かしながら、ビジネス的な手法によって解決しようとする事業

中京のまちとみち

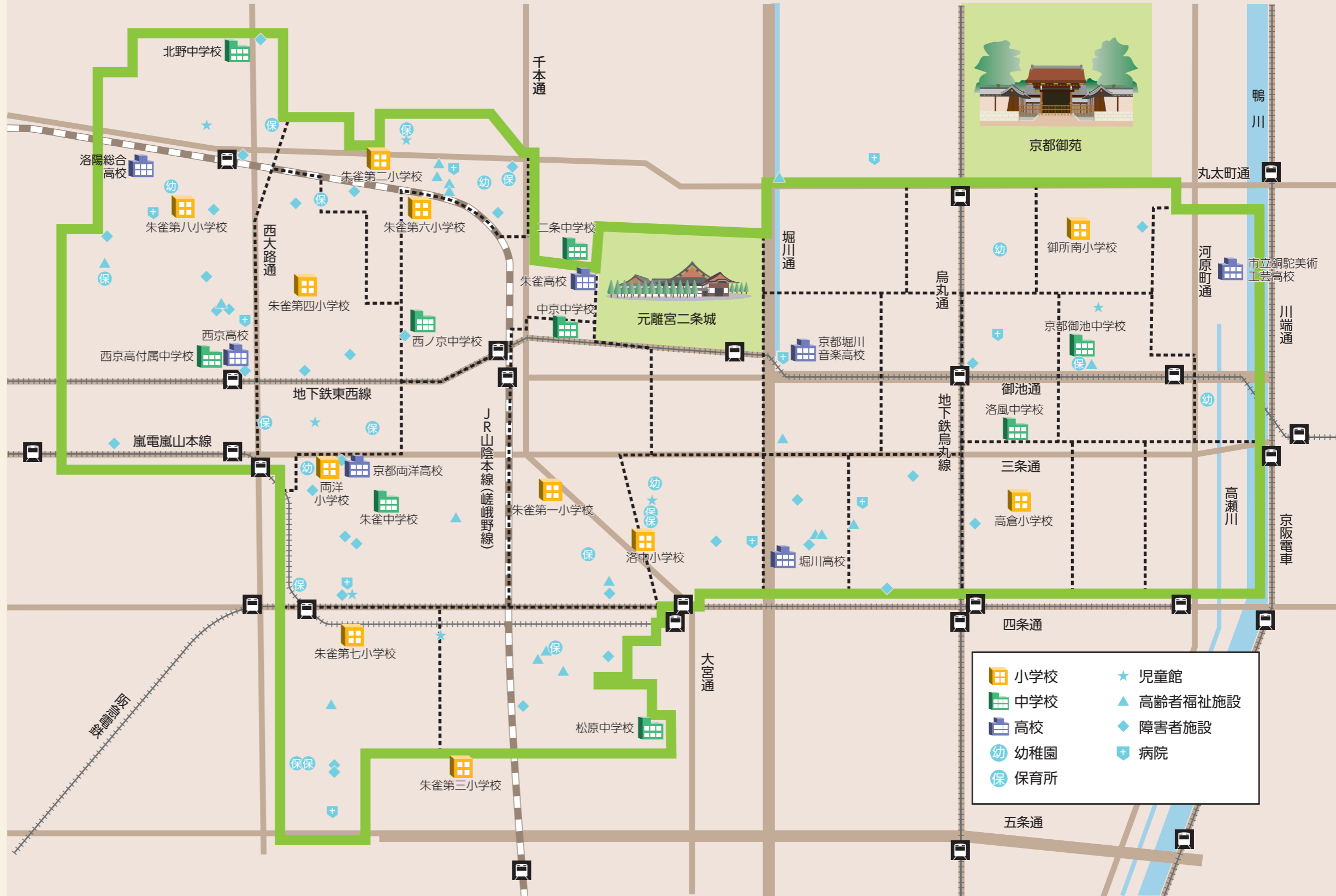
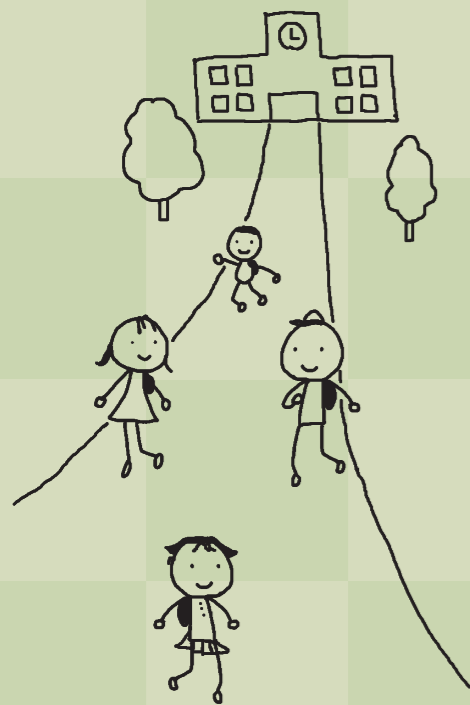
- 鉄道やバスなど公共交通ネットワークが充実しているほか、市民生活の足として自転車が便利なまちです。
- 自転車と歩行者の衝突事故や路上駐輪問題、生活道路を通り抜けに使う車や迷惑駐車増加などにより、安全な歩行が妨げられています。
- 国内外を問わず、京都を訪れる観光客の多くが立ち寄るまちであり、分かりやすい案内が求められています。





中京の人と暮らし

- 明治の番組小学校設立の頃から、小学校区を基礎単位とする自治が行われてきたまちです。しかし、近年の小学校統合により、従来の住民自治の単位と新しい小学校区の範囲が一致なくなっています。
- マンションの増加に伴い人口も回復しており、子どもたちの元気な声に戻ってきています。子どもを持つ親同士や地域のつながりを活かした教育・子育てが求められています。
- 増加しているマンション居住者と古くからの区民の良好な関係づくりも始まっているまちです。
- 各種の福祉施設や医療機関が充実したまちであるとともに、各種団体の連携による子どもや高齢者、障がいのある人の見守り活動なども熱心に行われているまちです。



想いを 紡ぐ

課題 1

地域交流の促進

- 地域コミュニティの活性化
- 高齢者・障がいのある人の支援と参加促進
- 教育・子育ての支援



課題 2

文化とにぎわいの創出

- 地域文化の継承と創造
- にぎわいの創出
- 緑化とまちの美化



課題 3

まちなか交通の快適化

- 安全に歩けるまちなかの実現
- 公共交通体系の改善
- おもてなしの心を伝える観光情報の提供



重点課題 - 1 地域交流の促進

中京は、地域の皆さんが主体的にまちづくりに取り組む伝統を有しています。しかし、近年は、人と人とのつながりが希薄になり、地域コミュニティ活動への参加が減少している地域もみられます。このため、地域コミュニティの活性化、高齢者・障がいのある人の支援と地域活動への参加促進、教育・子育ての支援など、地域交流の促進が重要な課題です。

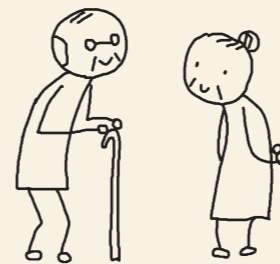
■ 地域コミュニティの活性化

- コミュニティを支え災害にも強い地域力の醸成
 - ・ 意欲ある人が活躍できる各種団体や町内会・自治会運営
 - ・ 地域の自治活動を支える後継者の育成
 - ・ 老朽住宅や空き家の増加に対応した地域のつながりづくりと防犯・防災活動の強化
 - ・ 世帯数減少に伴う町内会・自治会合併など、地域自治組織の再編支援
 - ・ 統合により新たに生まれた小学校区に対応した地域活動のあり方研究
- マンション居住者と地域の交流促進
 - ・ 新たに区民となる方が地域への理解を深めるための情報提供
 - ・ マンションの町内会・自治会加入に際した地域側の受入体制づくり
 - ・ ワンルームマンション居住者などが「地域の一員」としての意識を持てるような関係づくり
 - ・ 交流や支え合いのための居住者情報を収集しやすい関係づくり
 - ・ 学区運動会など、地域の交流行事の活性化
 - ・ マンション入居予定者に地域を知ってもらうための、開発業者への協力要請



■ 高齢者・障がいのある人の支援と参加促進

- 高齢者・障がいのある人の安心・安全の確保
 - ・ 高齢者（ひとり暮らしや認知症の方など）の見守り体制構築
 - ・ あいさつのできる関係づくりと、高齢者・障がいのある人の支援のための居住者情報の共有と管理の徹底
- 高齢者・障がいのある人の地域活動への参加促進
 - ・ 高齢者・障がいのある人や定年退職後の男性の活躍の場づくり



■ 教育・子育ての支援

- 地域ぐるみで取り組む子どもの健全育成
 - ・ 子どもを地域ぐるみで見守り、子どもを共に育む環境づくり
 - ・ 子ども同士のつながり、世代を超えた交流の機会と場所づくり
 - ・ 家庭の子育て力の維持向上、親の孤立回避など、子育て家庭の支援
- 子どもの見守り・防犯の充実
 - ・ 不審者情報の共有や、防犯についての知識の向上
 - ・ 携帯電話やインターネットなどに氾濫する有害情報への対策





重点課題-2 文化とにぎわいの創出

中京は、文化に恵まれるとともに、京都で最もにぎわいのあるまちです。しかし、伝統行事などの継承の難しさ、商店街の利用者の減少などの問題もあります。このため、引き続き、地域文化の継承と創造、にぎわいの創出、緑化とまちの美化を推進していくことが重要な課題です。

■ 地域文化の継承と創造

● 伝統文化の継承と発展

- ・ 地蔵盆や夏祭りなど、地域行事の継承
- ・ 祇園祭など伝統行事における担い手不足の克服
- ・ 和装産業等に代表される伝統技術の継承と後継者の育成

● 暮らしの文化の再発見と創造

- ・ 打ち水・門掃きなど、環境にもやさしい京都らしい暮らしの文化の継承
- ・ 地域住民がまちの歴史・文化を再発見する機会の確保
- ・ 和服を着やすい環境の醸成

● 「通り」の景観をはじめとする中京の地域個性の再構築

- ・ 通り名や地域資源に関する情報の発信
- ・ 伝統的なまち並みはもとより街路樹・河川・夜景なども含めた都市景観の保全
- ・ まちを形作る通りや河川、象徴的な建物などの再認識とまちのイメージの再構築



■ にぎわいの創出

● 都心商業地の活性化

- ・ 河原町の活性化、木屋町の安全確保など、繁華街のにぎわい再生
- ・ 京都駅周辺など、新たな市内の商業施設の動向を踏まえた対応
- ・ 地域と事業者の連携強化

● 地域商店街の活性化

- ・ 利用者減少、空き店舗増加などへの対策

● コミュニティビジネスの創出

- ・ 地域資源を活かした元気なコミュニティビジネスの創出



■ 緑化とまちの美化

● 緑化と環境保全の促進

- ・ まちなか緑化の推進による緑被率*や緑視率**の向上

● 身近なごみ問題解決に向けた啓発と美化活動の促進

- ・ 家庭ごみの減量やごみ出しマナーの改善
- ・ 住宅街における飲食店増加に伴う悪臭やごみ問題への対応
- ・ 道路・公園におけるペットの糞害、川へのごみ投棄の解決

* 緑被率…空から見た、区域に占める緑で覆われた土地の割合
 ** 緑視率…人の目の高さにおける、目に見える範囲の緑の割合



重点課題-3 まちなか交通の快適化

商業・ビジネスの中心地であり、公共交通ネットワークの要である中京には、たくさんの人や自動車が集まってきます。このため、安全に歩けるまちなかの実現、公共交通体系の改善、おもてなしの心を伝える観光情報の提供など、まちなかの交通を快適にすることが重要な課題です。

■ 安全に歩けるまちなかの実現

● 自転車マナーの向上と駐輪問題の克服

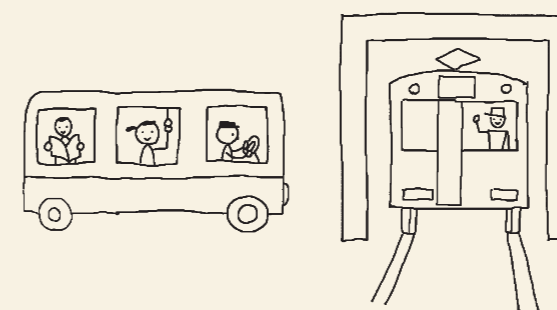
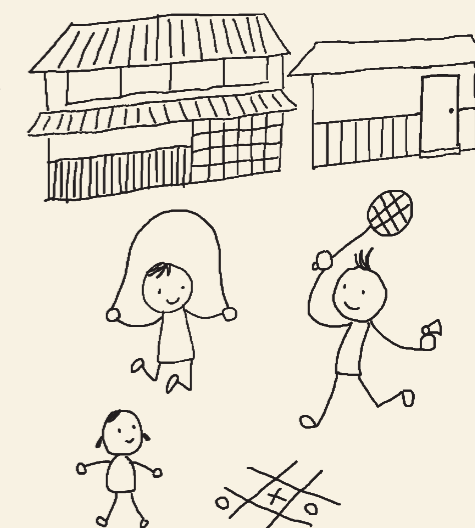
- ・ 無灯火や並列運転、「ながら運転」など、悪化している自転車マナーの向上
- ・ 安全な通行を妨げる不法駐輪の対策強化

● 人が主役のまちなか道路の実現

- ・ 迷惑駐車の防止など自動車対策の強化
- ・ 安全運転、アイドリングストップなど、自動車運転マナーの向上
- ・ 生活道路を通り抜ける車両の流入抑制

● 歩いて楽しめる商店街づくり

- ・ 来客用駐輪・駐車スペースの確保
- ・ 商品陳列の路上へのはみ出し抑制
- ・ 安心・安全に買い物できる環境づくり



■ 公共交通体系の改善

● バス・地下鉄の利用促進

- ・ より利用者の立場に立った公共交通の実現
- ・ 市バスのルート再編による利便性向上

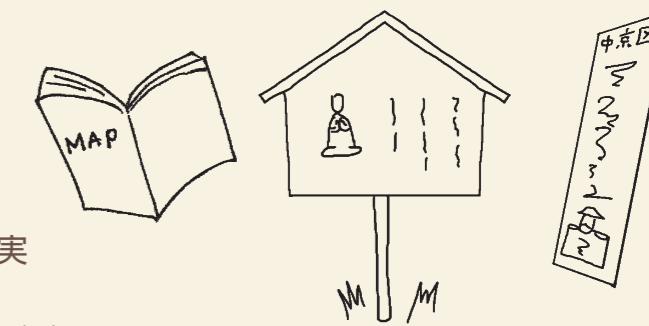
■ おもてなしの心を伝える観光情報の提供

● わかりやすい案内表示の整備

- ・ 身近な通り名や四つ辻の地名表記板の整備
- ・ 観光施設の案内表示の整備

● 外国人から区民まで利用できる地域案内の充実

- ・ マップや観光案内板、インターネット情報等の整備・活用
- ・ 観光案内ボランティアによるおもてなしや、観光案内所の充実



地域を
結ぶ

まちづくりの目標

響きあう 人・まち・文化 中京区
～わたしが創る ふれあいとにぎわいのまち～

中京には、建都1200年の歴史を通じて培われた、歴史的・文化的な資源があります。永い年月を経て今なお繁栄を続け、まちづくりや商業・ビジネスの中心地として様々な人たちが活躍するまちが中京です。



このまちでは昔から、町内会・自治会や自治連合会などの地域組織、各種団体、教育機関、NPO、事業者など、まちに住む・関わる全ての人々が、汗を流してまちを支えてきました。そして、その「地域力」は、これからの社会でますます必要とされています。

中京に住まい・集う人々がふれあい、交流し、地域の資源を活かしたまちづくりに取り組む中で、新しい出会いや新たな価値を創造してゆく、「人・まち・文化が響きあうまち」を共に創っていきましょう。



目指すべき将来像

人

将来像 1

コミュニティの
活性化と再生

●中京は、マンションの増加に伴い、新たに区民となる方が増えているまちです。居住歴や世代の違い、地域への愛着と関心の度合いの差異などを乗り越えて、コミュニティの活性化・再生を進めます。

●商業・ビジネスの中心地として、常にたくさんの人々が訪れるまちが中京です。こうした人々も、今後のまちづくりに積極的に関わることのできる機会の創出を図ります。

文化

将来像 2

地域個性の
継承と創造

●中京では、多くの文化的資産を、今日まで引き継いできましたが、社会経済や人々の生活スタイルの変化に合わせて、まちの姿も変容しつつあります。今後も古くからのまちの姿を守るとともに、日々の暮らしが形作るまち並みや通り名、門掃き・打ち水など失われつつある「暮らしの作法」を再認識する取組を進めます。

●古くから町衆の活躍の舞台として、このまちでは常に新しい試みが行われ、全国に向けて情報が発信され続けてきました。こうした区民の思いを大切にしながら、中京の地域個性の再認識と、新たな価値の創造に向けて、区民・事業者・NPO等の協働を進めます。

まち

将来像 3

通りの復権

●中京では、区民の暮らしや生業^{なりわい}、催事や伝統行事が、古くから「通り」で営まれており、「通り」は、文化が生まれる場所でもあり、人々が集い華やぐ舞台でもありました。しかし現状では、車中心の社会となり、「通り」が単なる「道路」となっています。今後は、車中心のライフスタイルからの転換を図り、住民も来訪者も安心・安全に往来できる、区民の

日々の暮らしや生業^{なりわい}の空間としての魅力ある「通り」の復権を目指します。

●区民・事業者・NPO等の連携を強めることで、全市的な公共交通の利便性向上や自動車の総量抑制策、自転車を楽しむことができる環境の整備などを通じ、「歩いて楽しいまち」づくりを進めます。



中京の将来像の実現を目指して、7つの「まちづくり戦略」に取り組んでいきます。

人

将来像 1

コミュニティの
活性化と再生

戦略 1

柔軟で開かれた
地域組織づくり

文化

将来像 2

地域個性の
継承と創造

戦略 3

今日に引き継がれる
歴史文化の
再発見と継承

まち

将来像 3

通りの復権

戦略 6

人と自転車が
共存できる
環境の整備

戦略 2

子どもから高齢者まで
多様な人材が活躍
できる活動づくり

戦略 4

まちごと・通りごとの
個性ある文化醸成

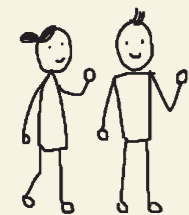


戦略 5

商い・ものづくり・学問
の集積が生み出す
にぎわいづくり

戦略 7

公共交通の
利用促進と
交通体系の改善



絆
を深める

各戦略中の「事業アイデア」とは…

中京区基本計画策定委員会やパブリック・コメントにおいて、委員や市民の皆さんに個別の施策や事業のアイデアを提案してもらったり、夢を語ってもらったものです。

まちづくり 戦略 -1

柔軟で開かれた地域組織づくり

●開かれた地域組織づくり

活力あるまちづくりを目指して、開かれた地域組織づくりや地域情報の発信力強化のための、様々な取組を促進します。

●マンション建設時の地域対応

マンション建設の際の周辺地域とのトラブルを回避するための仕組みづくりを推進します。

●マンション居住者との交流

マンション居住者が、ご近所との付き合いの大切さを再認識し、地域のまちづくりに積極的に参加したくなるような取組を促進します。

●地域組織の新しいあり方の模索

少子高齢化やマンション増加の状況、地域の産業や祭りなど、地域ごとの実情や特色に即した「地域組織の新しいあり方」を模索することで、コミュニティの再生を推進します。



事業アイデア

- 自治連合会の活動内容や町内会・自治会に加入するメリットを伝える冊子等の発行
- 元学区行事予定の回覧などの情報発信
- 地域の歴史文化を学ぶサークル活動の奨励
- 市民しんぶん区版への、全盛期の町内会・自治会活動を伝える記事の掲載
- マンション建設時の周辺地域とのトラブルに係る相談窓口の開設
- 新しく建つマンションの町内会・自治会加入や自治連合会加盟の成功モデル等を共有する情報交換会や加入・加盟のルールづくりに向けた研究会の開催
- マンション固有の問題解決について考える横断的なネットワーク構築
- 地区計画*制度等を活用したマンション建設に関するルールの検討
- マンション大規模改修に際した緑化や景観配慮の啓発
- 歓迎会の開催など新たに区民となった人を地域で迎える活動
- PTA 対象の親子ワークショップの開催などによる地域活動に参加しやすい取組
- 学区単位で開催する地蔵盆や、新しい小学校区単位の地域活動のあり方研究
- 市街地景観協定等の、地域における景観づくりの検討

*地区計画…それぞれの地区の特性にふさわしい良好な環境の市街地を維持・形成するため、住民意向を反映しながら地域の目標を定め、道路、公園などの地区施設や建築物の整備、土地利用に関して地区のまちづくりに必要な事項を選択し、その詳細な計画（ルール）を定めるもの





まちづくり戦略 2

子どもから高齢者まで 多様な人材が活躍できる活動づくり

●参加・活躍の場づくり

これまで地域活動に参画していない区民が、積極的に活動にかかわることのできる環境づくりとして、町内会・自治会や各種団体からの働きかけやNPOとの協力連携による人材の発掘と、活躍できる場づくりを進めます。

●コミュニティビジネスの創出

地域課題の対応や地域資源の活用などに取り組むコミュニティビジネスの創出を促進します。

●つながりづくり・支えあい

世代を超えた地域交流の促進を図るとともに、お互いを助け合えるコミュニティづくりに向けて、子どもや高齢者、障がいのある人の見守り活動の強化や、区民・事業者・NPO等の日常的な防災・減災の協力関係構築を図ります。

●スポーツを通じた世代間交流

誰もが一緒に楽しく参加できるスポーツイベントを通して、世代間交流を推進します。

●まちの美化

地域力を活かしたまちぐるみ美化、ごみ減量活動を推進します。



事業アイデア

- 子育て後や定年退職後の方々の力を地域に活かしてもらう方策や地域人材バンクの研究
- 町家を活用した滞在型宿泊施設、駐輪場ビジネス、配食サービス、子育て支援サービスなどの、コミュニティビジネスの支援
- 声かけ訪問や配食サービス、すこやか学級など各種団体の連携による高齢者の見守り活動の継続・強化
- マンション管理組合の理解を得た居住者名簿の作成などによる高齢者見守り活動
- 伝統文化の出前講座、昔の遊びの伝授、青年団の復活、キッズサロン、お寺「日曜学校」開催など、地域での世代を超えた交流創出
- 子どもの声かけ運動の継続や少年補導学生生班の復活など、地域の見守り活動の強化
- 大学の京町家キャンパス等を活用した子どもたちの「集いの場」の提供
- ワンルーム・学生マンション居住者に向けた、暮らしのマナー向上啓発ツールの製作
- 「ごみのもとを買わない」運動など、ごみ減量促進
- 区民スポーツ大会における競技種目の拡大
- 年一度の「大掃除」イベント、落書き消去運動の実施
- 地域の住民と事業所との連携による防災訓練の開催
- 災害時の地域住民の避難場所（集合場所）を明示する案内板の設置

まちづくり戦略 3

今日に引き継がれる 歴史文化の再発見と継承

●伝統行事の継承

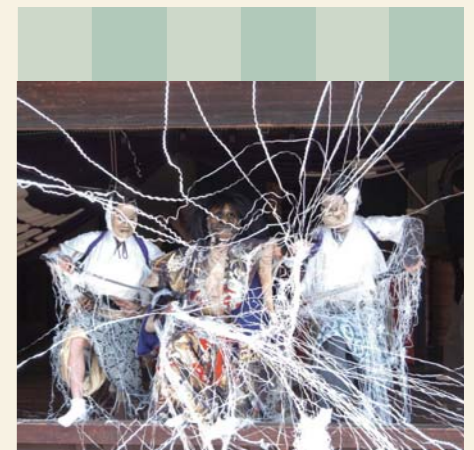
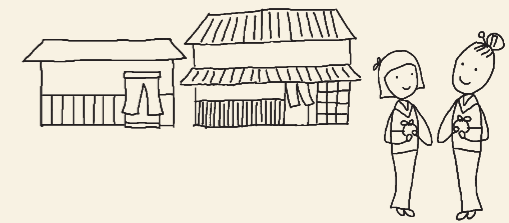
ユネスコ無形文化遺産である祇園祭をはじめとする地域の伝統行事を、担い手不足の克服などを通じ、未来へと継承します。

●歴史文化の再発見

中京らしい生活文化や歴史の再発見活動を通じて、地域への愛着と元学区ごとの交流やまとまりづくりを促進します。

●伝統産業の活性化

繊維産業をはじめとする伝統産業の活性化のための取組を進めます。



事業アイデア

- 「みんなできれい 祇園祭宵山ごみ袋持参&持ち帰りキャンペーン」(仮称)の開催
- 石碑・駒札・史跡の探索など、学区内の発見・探検まち歩きを開催
- 町名やその由来に係る表示板設置、町内単位の地域マップ作成、観光コースの設定、地域の歴史文化の掘り起こし本出版、4か国語観光パンフなど、地域を知る・学ぶ・遊ぶツールの開発
- 大学生や留学生、定年退職後の人材を活かした「中京認定観光・まちあるきガイド」(仮称)の養成
- 国内外の人たちが心安く交流できるサロンのような場所の開設
- 若い人たちが気軽に着物を着て外出できるための、着付け・着崩れサポートステーションの創設とボランティアの募集



まちづくり戦略 -4 まちごと・通りごとの個性ある文化醸成

●地域個性の再認識と発信

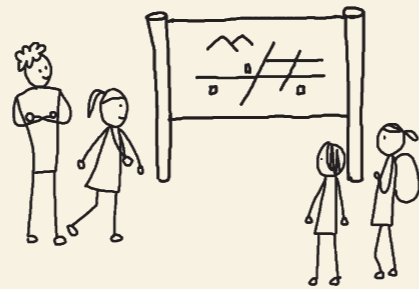
地域シンボルである世界遺産「二条城」がより区民に身近になるような取組や、大通りの魅力向上などを通じて、区民による中京の地域個性の再認識と発信を促進します。

●「通り」を活かしたまちづくり

歴史的な景観の保全、区民の思い出の掘り起こし活動を通じて、個性あるまち並みと文化の再認識と発信に努め、「通り」を活かしたまちづくりを推進します。また、個性を活かした魅力ある商店街づくりを進めます。

●歩く観光の推進

来訪者に歩いて楽しんでもらえる回遊性の高いまちを目指して、二条城に代表される観光拠点周辺の魅力を発信するとともに、誰もが心地よく散策できるまちを目指して、観光案内機能の強化を推進します。



事業アイデア

- 区民手づくりの「二条城イベント」の開催
- 御池通の街路樹や建物のイルミネーションの実施、「おいけフェスタ」への参加事業者等の拡大
- 朱雀大路等の由緒ある通り名の復活、街路樹の高さ統一、街路樹下の草花の植栽など、通りの魅力の向上
- 地域サインの芸術系大学生コンペ開催、町内会・自治会単位で草花の育成、公共施設の壁面を利用した緑化の推進
- 地区計画の推進、外灯の照明色の統一による通りの夜間景観の魅力の向上、京町家シンボルマークの発行等による歴史的な景観保全
- 4か国語表記の辻案内札の設置、まちなか案内所の増設、区内事業者スポンサーによる案内看板設置

まちづくり戦略 -5 商い・ものづくり・学問の集積が生ま出すにぎわいづくり

●魅力ある個店の集積

「よそでは得られない 贅沢な時間と空間」を提供する魅力的な個店の集積を図ることで、にぎわいと華やぎのある都心商業の振興を図ります。

●協働による商店街の活性化

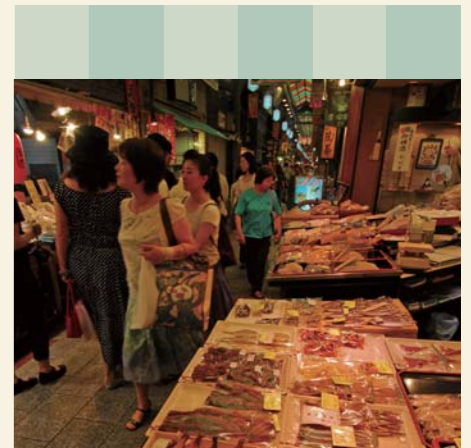
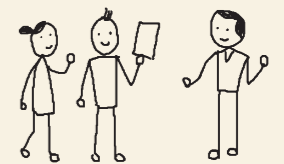
商店街の枠を越えた地域活性化イベントを実施するとともに、町内会・自治会、学区や市内大学、事業者など、多様な主体との協働により地域のにぎわいを創出します。

●大学と地域の連携

新たに大学が集まるまちとして、その知的・人的資源を活かした地域のにぎわいづくりを目指します。

●企業と地域の関係構築

企業のイメージ向上や人材育成と、地域の活性化の双方に貢献できる関係づくりを推進します。



事業アイデア

- 京都のブランド力を活かした付加価値の高い商品や、京都でしか手に入らない「京もの」商品の開発、最上のおもてなしの提供
- 店頭の商品が路上へはみ出すのを抑止するための、事業者・商店街が連携したルールづくり
- 商店街イルミネーション、日曜日、大学等との共催によるフリーマーケットやライブイベントの開催、市内商店街共通ポイントカードの発行などによる、人が集まる仕掛けづくり
- 大学・サテライトキャンパスとの協働によるオリジナル商品の開発
- NPO・コミュニティビジネスによる商店街の空き店舗活用
- 二条駅周辺の商店街と大学との日常的な連携によるにぎわいづくり
- テナント事業者が地域コミュニティに溶け込むための仕組みづくり



まちづくり戦略 -6 人と自転車が共存できる環境の整備

●自転車マナーとルールの確立

環境に優しく手軽な交通手段である自転車を、歩行者やまちの皆さんに迷惑をかけることなく、格好良く安全に利用できるまちの実現が期待されています。「自転車の作法」の普及を図るとともに、「マナーの悪い自転車のお断り」の機運をまちぐるみで醸成します。

●自転車利用の環境整備

人と自転車が共存できるよう、走行環境・駐輪環境の整備を推進します。



事業アイデア

- 安全啓発冊子の普及・広報、町内単位のマナー講習、障がいのある人の参加や高齢者疑似体験を採り入れたワークショップなどによる、「自転車の作法」の普及
- 学区単位の駐輪指導員任命、自転車保管料の見直し、プランター・ベンチの設置などによる、マナーの悪い自転車のお断り活動
- 駐輪場の整備、駐輪場附置義務見直し、休日に休業している施設の駐車場の開放、道路の一部駐輪場化、駐輪場案内表示、自転車シェアリング導入研究などによる、自転車利用の環境整備

まちづくり戦略 -7 公共交通の利用促進と交通体系の改善

●歩行者優先のまちづくり

地域の実状に応じた歩行者優先のまちを目指し、学区や商店街単位の交通ルールの導入や、新しい自動車規制について研究を進めます。

●使いやすい公共交通の実現

公共交通を誰もが快適に活用できるよう、バス・地下鉄の利便性の向上に努め、利用促進を図ります。

●ライフスタイルの転換

「歩くまち・京都」総合交通戦略に基づき、自動車の総量抑制や新しい交通システムの構築など、先駆的な取組のモデル地域を目指し、低炭素型まちづくりに貢献します。



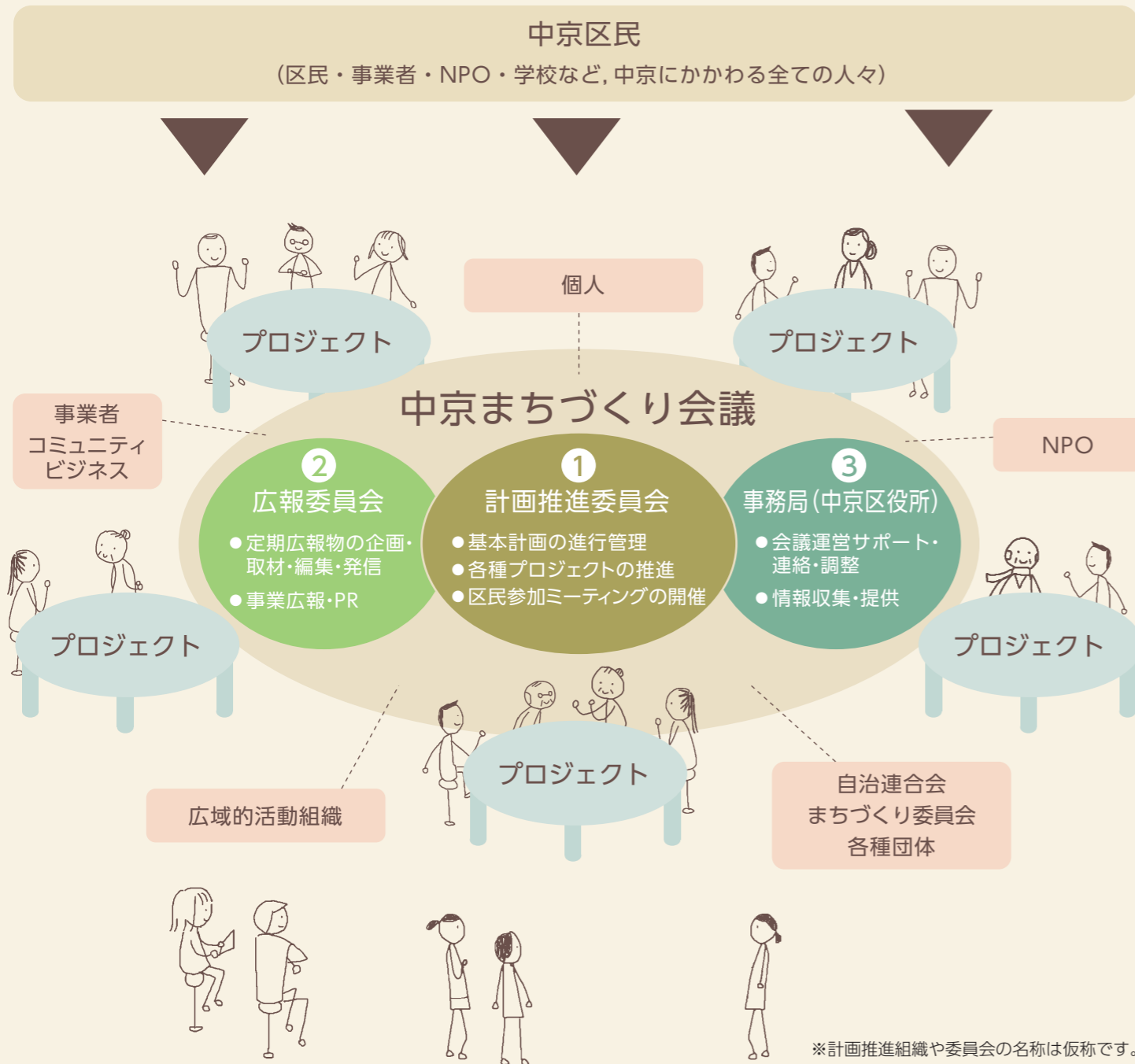
事業アイデア

- 都心地区における自動車通行止め、都心の生活道路を通り抜ける車両の抑制、クラクション禁止など、新しい自動車規制の導入検討
- 時間帯規制による歩行者天国の実施、河原町通の歩行者天国の毎週開催など、学区や商店街単位の交通ルールの導入検討
- ユニバーサルデザイン*の理念に基づいた乗り場表示の設置など、公共交通利用環境の整備
- バスのダイヤやルートの再編、乗換運賃見直し、バスロケーションシステムの増設
- 地下鉄の車両デザインによる観光資源化、イベントバスの企画・運行
- ペロタクシー（自転車タクシーの一種）の普及、カーシェアリング推進など、新しい交通システム導入

*ユニバーサルデザイン…製品や施設等を、すべての人が利用しやすいデザイン（設計）にすることを指す考え方

6 計画推進の仕組み

- 中京区基本計画の進捗状況を管理し、計画に資する各種のプロジェクトを成功に導く計画推進組織として、「中京まちづくり会議」を立ち上げます。
- 「中京まちづくり会議」は、中京区でまちづくりに頑張っている人の輪をつくり、お互いの交流・連携・協働の取組を広げることを支援するものです。
- 計画の進行管理については、各種プロジェクトの立上げ時に達成目標を設定するとともに、プロジェクトの進捗に合わせて成果を客観的に評価することで、以降の改善に役立てます。



1 計画推進委員会

- 進行管理
 - ・基本計画及び各事業の進捗状況を管理します。
- 各種プロジェクトの推進
 - ・計画の方針に沿ったプロジェクトの検討, 実現に向けた実施主体の調整等を行います。
 - ・区民参加ミーティングを契機とする新たな協働型プロジェクトの生成を促します。
 - ・各種プロジェクトの推進に向けて, 関係者間の情報共有と連携を促します。
- 区民参加ミーティングの開催
 - ・住民・事業者・NPO・学校関係者等が自主的かつ積極的に, 情報交換や活動交流を行う場を提供します。
 - ・課題やテーマに応じた関係者に集まっていただくことで, 参加者間の協働型プロジェクトの萌芽を促します。

2 広報委員会

- 定期広報物の企画・取材・編集・発信
 - ・協働型プロジェクトの一つとして, 地域の資源や活動を紹介する情報紙を発行します。
- 事業広報
 - ・中京区基本計画の進捗状況の発信, 学区内の情報共有や学区間の情報交換などを行います。

3 事務局(中京区役所)

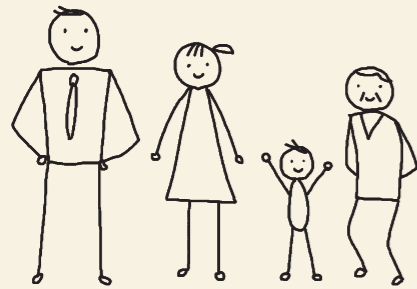
- 会議運営サポート
 - ・「中京まちづくり会議」の会議運営サポート, 連絡・調整支援等を行います。
- 情報収集・提供
 - ・計画の推進やプロジェクトの検討に必要な各種情報を収集・提供します。



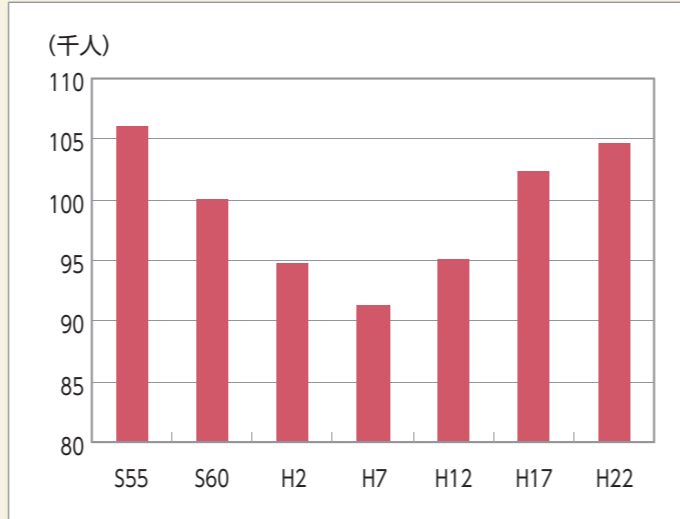
人口

中京区の人口は、昭和30年の16万7千人をピークに一貫して減少を続け、平成7年には9万1千人まで落ち込みました。

しかしその後、都心部のマンション増加などを契機として人口増に転じ、平成22年9月の推計人口では10万5千人まで回復しています。



中京区の人口の推移



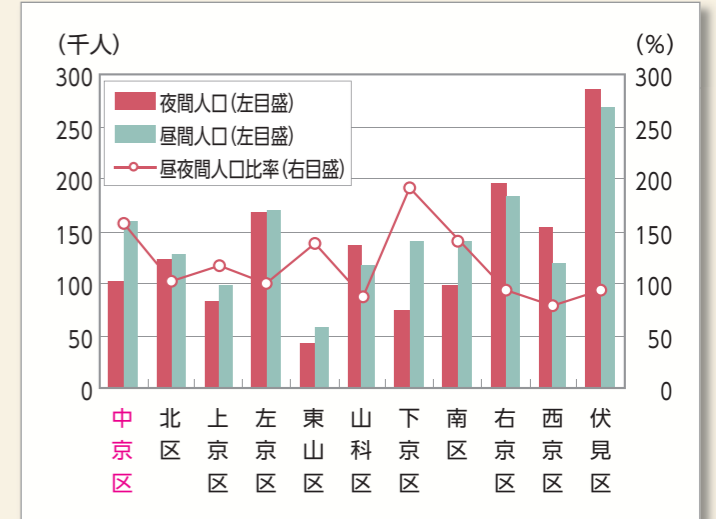
資料：国勢調査(S55～H17),京都市推計人口統計調査(H22.9)

昼間人口・夜間人口

中京区では、通勤・通学による流入のため、昼間は夜間の1.6倍程度まで人口が膨らみます。通勤・通学以外にも、観光、買物、ビジネスなどの目的で多くの方が区内を訪れているため、実際の昼間人口はさらに多いと考えられます。



昼夜間人口比率



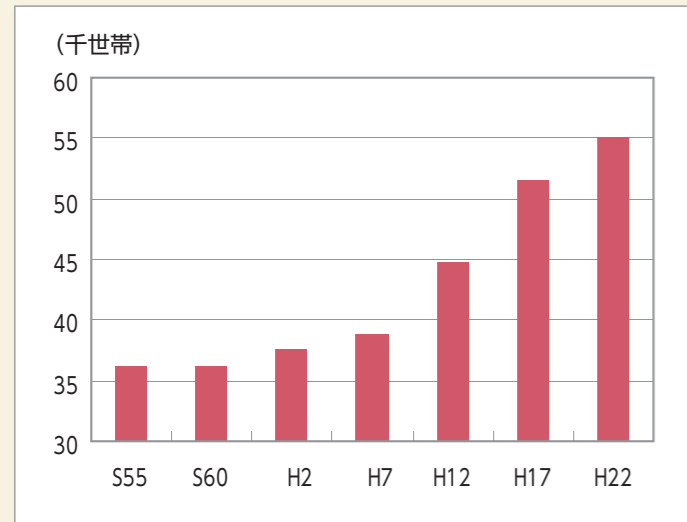
資料：平成17年国勢調査

世帯

中京区の世帯数は、昭和50年の3万4千世帯を底にして増加を続けており、平成22年9月の推計で5万5千世帯となっています。また、これを世帯の型別でみ

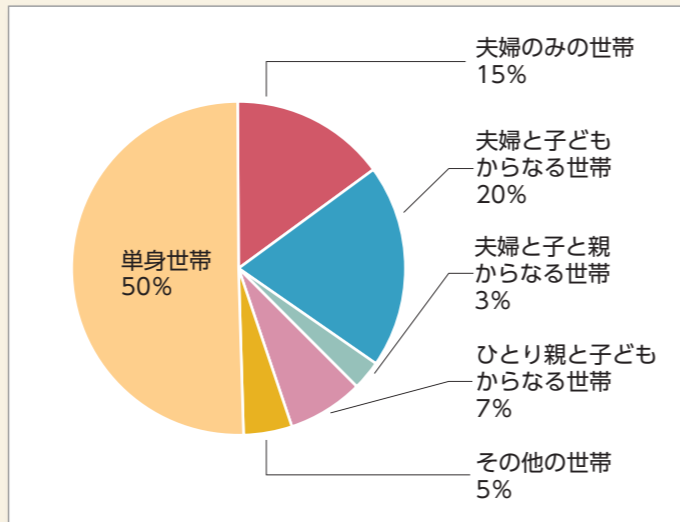
ると、区内に居住する世帯のうち、半数以上を単身世帯が占めています。

中京区の世帯数の推移



資料：国勢調査(S55～H17),京都市推計人口統計調査(H22.9)

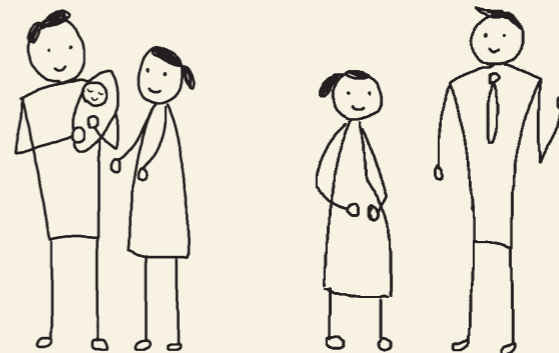
中京区における世帯の型別世帯割合



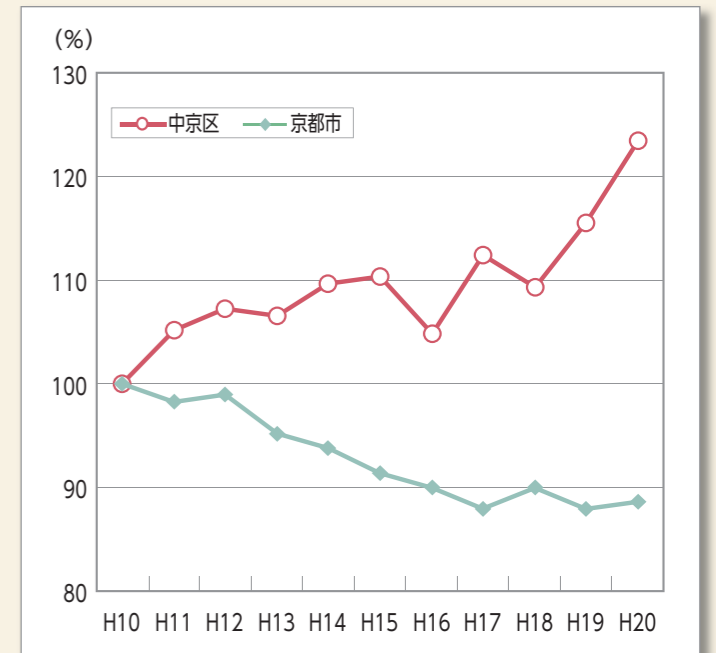
資料：平成17年国勢調査

出生数

近年の人口増加に伴い、中京区の出生数は上向いています。全市的には減少傾向にある中、近年10年間で中京区の出生数は2割以上も増えています。



出生数比の推移(平成10年を100)



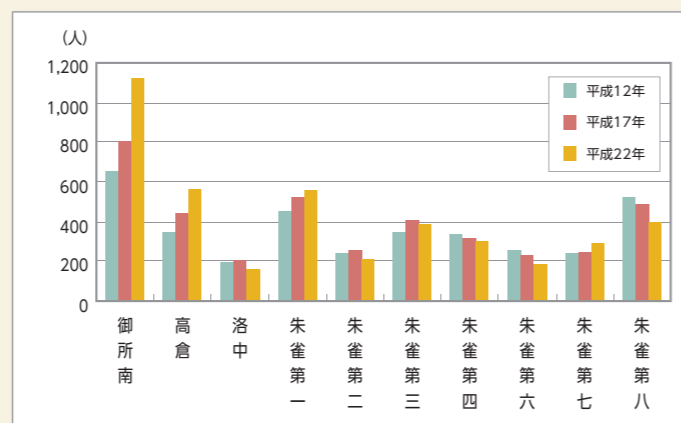
資料：各年京都市統計書

小学校児童数

中京区では、児童数の減少に伴って小学校の統合が実施され、18校から10校に減りましたが、その後の人口増に伴い、統合校の御所南小学校や高倉小学校では児童数が急激に増加しています。



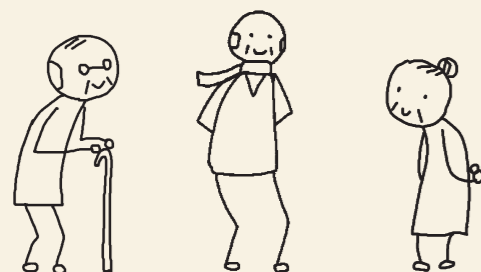
中京区の小学校児童数の推移



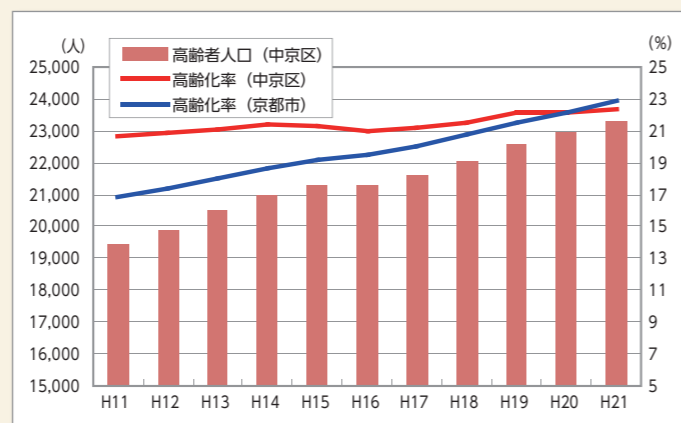
資料：各年教育調査統計資料

高齢者

高齢社会の到来に伴い、中京区の高齢化率(65歳以上人口の割合)は22%に達しています。全市平均に比べて高齢化の進展は緩やかなものの、高齢者数は急激に増えており、近年10年間で約4千人の増加となっています。



高齢者人口と高齢化率の推移



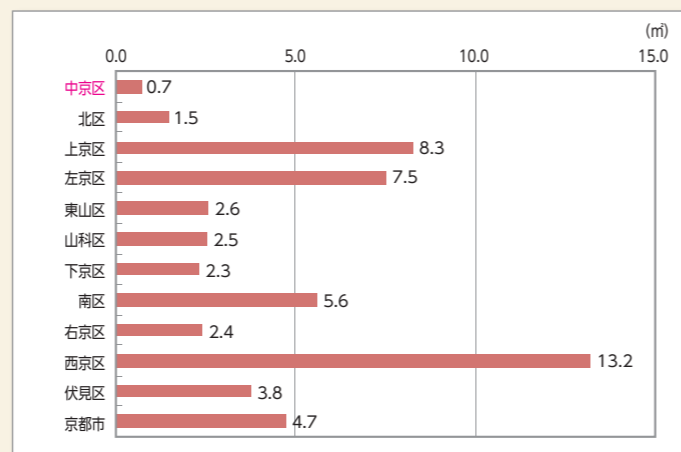
資料：各年京都市統計書

公園・緑地

区民一人当たりの公園面積を見ると、中京区は0.7㎡と全市平均の4.7㎡を大幅に下回ります。古くから高密度な市街地が形成されたため、中京区にはまとまった規模の公園や空地が少ないことが背景にあります。そのような中でも、学校や街路沿道の植樹帯、各家の庭の樹木など、区民の手で身近な緑が守られています。



区民一人当たりの公園面積



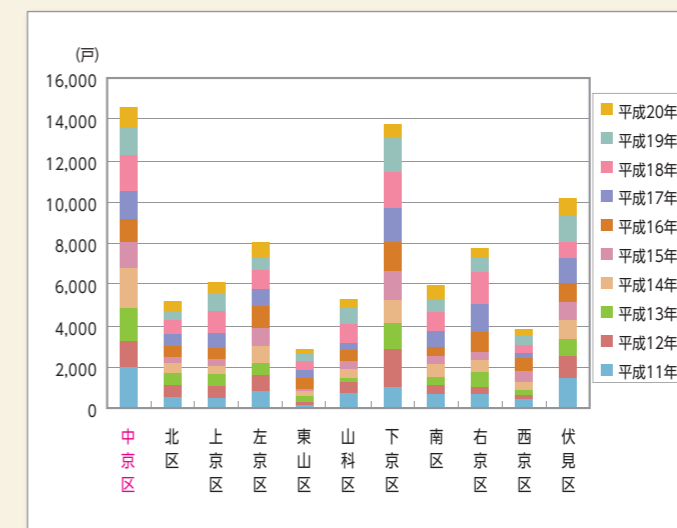
資料：平成21年京都市統計書

住宅

中京区は、下京区と並んで近年の共同住宅着工戸数が非常に多い行政区です。新しい景観政策の施行後は着工戸数が減少しつつあるものの、すでに区内の住居の6割を共同住宅が占めており、全市平均を大幅に上回っています。

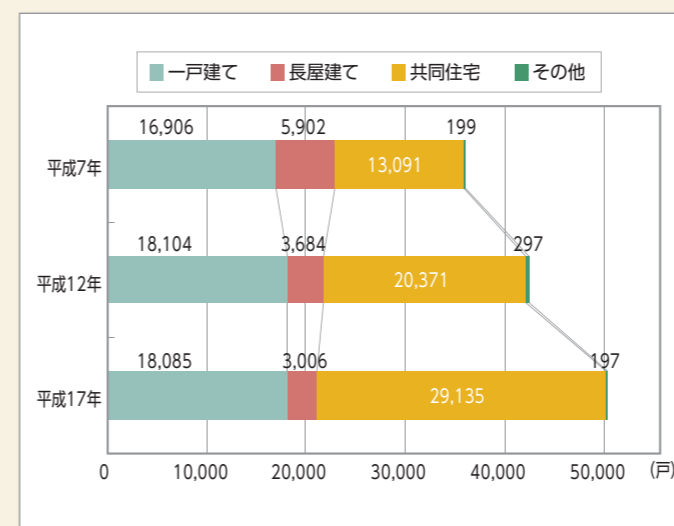
また、住宅の種類別の割合で見ると、平成17年国勢調査時点で半分近くの世帯が借家に居住しており、こちらも全市の平均を上回っています。

新設共同住宅着工戸数



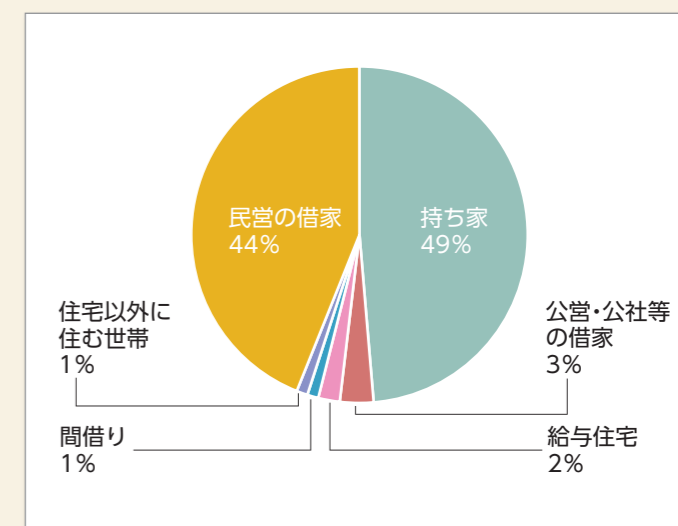
資料：各年建築着工統計調査

中京区の形態別住居数の推移



資料：各年国勢調査

中京区における住宅の種類別世帯割合

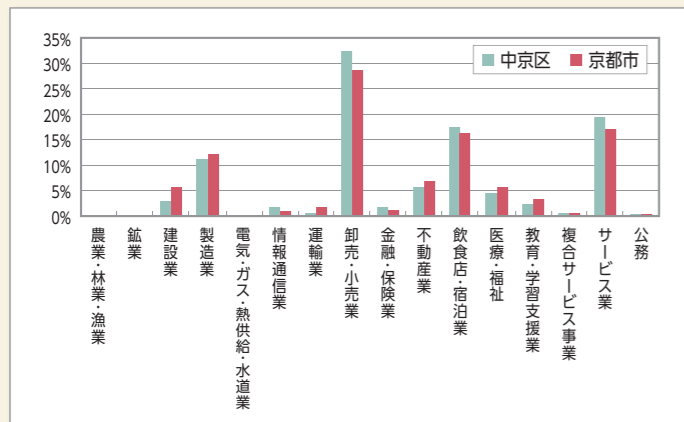


資料：平成17年国勢調査

産業

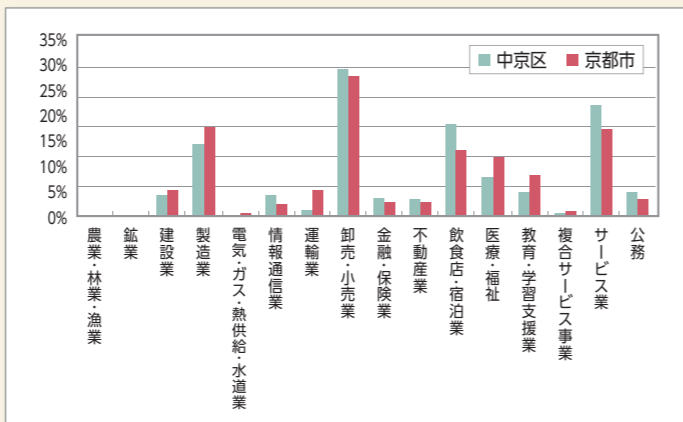
中京区は、事業所数、従業員数ともに全市の約15%を占めています。
全市平均と比較すると、特に「卸売・小売業」「飲食店、宿泊業」「サービス業」などの構成比が多いのが特徴です。

産業大分類別事業所数の割合



資料：平成18年事業所・企業統計調査

産業大分類別従事者数の割合



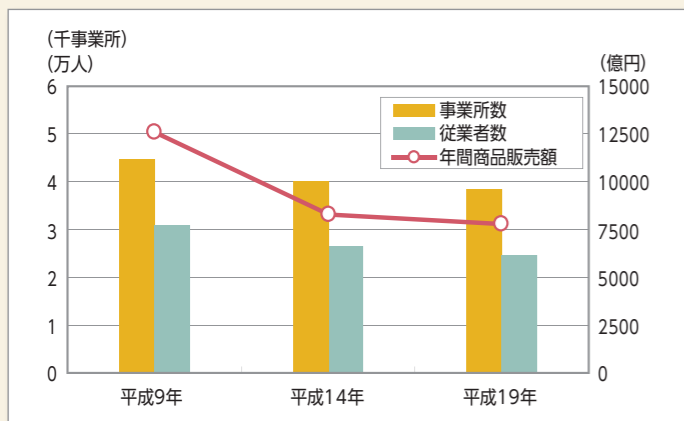
資料：平成18年事業所・企業統計調査

「卸売・小売業」について詳しく見てみると、事業所数は市内で最も多く、従業者数についても市内で2番目の数となっており、市内有数の商業地といえます。

しかし、近年10年間の推移を見ると、事業所数、従業者数ともに減少傾向にあり、年間商品販売額も約4割の減少がみられます。

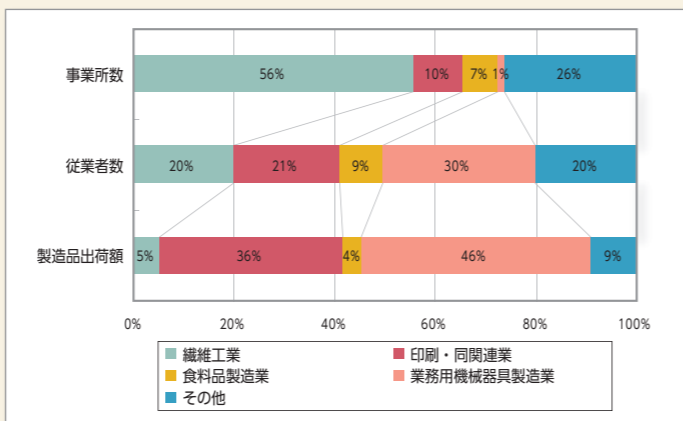
また、「製造業」について詳しく見てみると、中京区において最も事業所数の比率が高いのは繊維工業で、全体の過半数を占めていますが、従業者数は20%、製造品出荷額は5%にとどまっています。

中京区の卸売・小売業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



資料：各年商業統計調査

中京区の製造業の割合



資料：平成20年工業統計調査

中京区基本計画策定委員会 委員名簿

- 池田 克己 中京消防団
- 石野 猛 京都商店連盟中京東支部
- 樺井 久美子 中京区体育振興会連合会
- 木村 健二 中京保健協議会連合会(平成22年8月から)
- 日下部 昌史 中京区身体障害者団体連合会
- 杉本 節子 京都商店連盟中京西支部
- ◎谷口 知弘 同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーション研究コース 教授
- 土井 廣明 中京区自治連合会連絡協議会西ブロック
- 中上 秀子 中京区地域女性連合会
- 中村 伸之 宝塚大学講師, 有限会社ランドデザイン取締役
- 西田 麗子 中京区文化協議会
- 西村 和代 市民公募委員
- 萩永 麻由加 市民公募委員
- 橋詰 勝美 中学校PTA連絡協議会中京支部
- 久田 基代 社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会
- 福井 芳秀 祇園祭山鉾連合会
- 北條 悟 小学校PTA連絡協議会中京支部
- 牧 康子 中京区民生児童委員会
- 松村 弘子 中京区老人クラブ連合会
- 山内 正一 市民公募委員
- 山本 訓三 中京区自治連合会連絡協議会東ブロック
- 山本 康雄 中京保健協議会連合会(平成22年8月まで)

(◎は座長, ○は副座長 五十音順, 敬称略)

